

2015年4月20日

報道関係各位

慶應義塾大学 SFC 研究所
日本マイクロソフト株式会社**慶應義塾大学 SFC 研究所プラットフォームデザイン・ラボと日本マイクロソフト
「高校遠隔授業汎用モデル on Skype for Business」の共同研究で合意**

慶應義塾大学 SFC 研究所プラットフォームデザイン・ラボ（代表：國領二郎 総合政策学部教授、以下慶應大学 SFC プラットフォームデザイン・ラボ）と日本マイクロソフト株式会社（本社：東京都港区、代表執行役 社長：樋口 泰行、以下日本マイクロソフト）は、2015年4月1日の学校教育法施行規則改正（※1）により全国の高校において遠隔授業が解禁されたことを受け、Skype for Business（旧 Microsoft Lync）（※2）を活用した「高校遠隔授業汎用モデル on Skype for Business」の共同研究に合意しました。

慶應大学 SFC プラットフォームデザイン・ラボは全国の高校で推進してきた遠隔授業の実証研究のノウハウを、日本マイクロソフトは多くの教育機関、教育委員会への ICT 基盤の導入で培った技術面のノウハウを持ち寄り、コスト的にも品質的にも全国の全ての高校で導入可能な遠隔授業モデルを研究開発します。

なお、慶應大学 SFC プラットフォームデザイン・ラボは本年度上期を目途に研究成果を公開します。

「高校遠隔授業汎用モデル on Skype for Business」の共同研究について

慶應大学 SFC 研究所プラットフォームデザイン・ラボは、これまでも全国各地の高校において ICT を活用した遠隔授業の実証研究を推進しており、システム開発のみではなく、適切な授業の進め方、適切な通信環境、社会受容可能なコストなど、運用面まで踏み込んだ多岐に渡る遠隔授業の実用化に必要なノウハウを蓄積してきました。

日本マイクロソフトは、2012年より教育機関に対して統合型情報共有クラウドサービス「Office 365 Education」を無償で提供しており、その国内ユーザー数は 220 万人（2015年2月時点）を突破しています。「Office 365 Education」に含まれる Skype for Business（プレゼンス管理、インスタントメッセージ、音声・ビデオ通話、オンライン会議の機能を備えるコミュニケーションプラットフォーム）を活用することで、離れた場所を繋いで音声や動画でコミュニケーションしたり、PowerPoint で作成したプレゼンテーションを共有したりといった新たな授業が可能となります。

慶應大学 SFC 研究所プラットフォームデザイン・ラボでは、「Office 365 Education」を基盤として活用することで、授業内容や学びの環境に合わせた質の高い遠隔授業を低コストで実現できると考え、日本マイクロソフトとの共同研究を決定しました。

今回両者が合意したのは以下の三点です。

1・「高校遠隔授業汎用モデル on Skype for Business」の共同研究

教育への ICT によるイノベーション実現の阻害要因には、制度・慣習以外にも「高額である」、「教職員にとって機器やソフトウェアなどの取り扱いが難しい」と言う理由等があるという問題意識を共有し、教育機関にも広く普及している Office 365 Education と Skype for Business を活用することで、コスト的にも品質的にも全国の全ての高校で導入可能なモデルの構築を目指します。

2・文部科学省報告が提示する基準への適合と、研究成果の公開

昨年 12 月に文部科学省「高等学校における遠隔教育の在り方について（報告）」では、『音声を重視した上で、社会的に受け入れられるコストと品質』での遠隔授業システムの普及を推奨しています。「高校遠隔授業汎用モデル on Skype for Business」は、同報告書が提示する基準への適合を目指し、遠隔授業を実施する際に最低限用意すべき ICT サービス、機器、通信環境、授業運用ノウハウ、ICT サポート体制の情報を体系化し公開します。

3・遠隔授業の普及と、子供たちの学びの多様性の実現を推進する活動の実施

両者は本年度より全国の教育委員会や各学校で実施される遠隔授業の支援活動を行います。活動の一つとして、2 か国の教室間を Skype で接続し、子ども達が英語でヒントを出し合って、お互いの国を当てる交流学习、「Mystery Skype（※4）」の活用支援プログラムを開始します。

※1. 平成27年4月1日・官報号外75号掲載

学校教育施行規則の一部を改正する省令。第八十八条の二：高等学校は文科大臣が定めるところにより、授業を多様なメディアを高度に利用して当該授業を行う教室以外の場所で履修させることが出来る。

※2. Skype for Businessについて

Skype for Business（旧 Microsoft Lync）は、Skype の優れた使い勝手とエンタープライズグレードのセキュリティ、コンプライアンス、管理性を備えたコミュニケーション・コラボレーションプラットフォームです。これまで Lync で提供されていたプレゼンス管理、インスタントメッセージ、音声・ビデオ通話、オンライン会議の機能を備えると同時に、Microsoft Office との優れた親和性で、ユーザーは Office から直接 インスタントメッセージ、通話などを開始する事が可能です。

※3. 文部科学省「高等学校における遠隔教育の在り方について（報告）」

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/104/houkoku/1354182.htm

※4 「Mystery Skype」概要は以下ウェブサイトで開催予定です。

<http://www.microsoft.com/ja-jp/education/mysteryskype.aspx>

◇慶應義塾大学 SFC 研究所プラットフォームデザイン・ラボに関する情報は以下の慶應義塾大学 SFC 研究所 Web サイトをご覧ください。
<https://www.kri.sfc.keio.ac.jp/ja/lab/pdl.html>

【この件に関するお問い合わせ】

<本事業担当教員>

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任講師 梅嶋 真樹

■ 報道関係の方

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室学術研究支援担当

電話：0466-49-3436 E-mail：kri-pr@sfc.keio.ac.jp

または

日本マイクロソフト株式会社 社長室 コーポレートコミュニケーション部 飯田

電話：03-4535-8055（部門代表）

Fax：03-3472-7853

E-mail：mskkpr@microsoft.com